

果樹園だより

徳島県立池田高等学校三好校



「ありがとう」を大切に！！

㊦果実の食害が続く㊦

6月のモモの食害に続き、生徒用ナシ棚とブドウハウスも被害にあいました。生徒用ナシ棚は被害にあったモモ棚の隣にありますが、ナシはモモのような甘い香りを出していないのと、食べられたナシから見て鳥類による仕業だと思われます。7月13日現在、目視できるだけで20個以上が被害にあっています。(写真下左側)

2つあるブドウハウスの内、被害にあったのは1つのハウスで3房にネットと袋が破られたあとが見られました。状況から鳥類による被害だと思われます。ネットを被せていたおかげで、被害は最小限に抑えられています。(写真下右側)



㊦食害への対策㊦

モモ棚が食害にあったときにも様々な対策をしましたが、それでも1つ2つは被害にあいました。今回は対策を変え、小動物や鳥が嫌がる超音波を出す装置を2種類購入しました。1つのタイプは動きに反応し、フラッシュライトを点滅させ、超音波を出します。もう1つは電池式で暗くなると、ブルーライトを光らせ、50秒間に5秒超音波を出します。

ブドウハウスにはハウスごとにブルーライトとフラッシュライトの2種類、ナシ棚には谷川にフラッシュライトを2台設置しました。



㊦それでも続く食害㊦

超音波装置を設置して、安心する間もなく、販売用ナシ棚に被害が出ました。このナシ棚には周囲と上部にもネットを張り、鳥が入りにくくしてあるのですが、それでも少しの隙間や作業用の入口から入ってくるのでしょうか。袋がけした袋が落ちていたので、枝を見てみると、鳥につつかれ、片面だけが食べられているナシがありました。

早速、超音波装置を注文しましたが、それが届くまでの間、ブドウハウスから1台借りて入り口付近に設置しました。さらに昨年使っていたカラスや鳥よけも設置しました。



㊦さらに続く侵入㊦

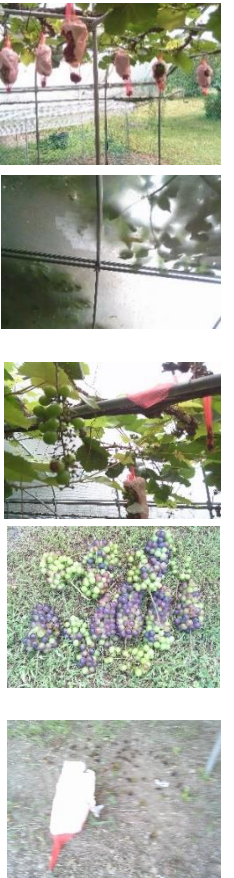
7月16日(木) ブドウハウスをのぞいてみると、少し異変を感じました。正面からはわかりにくいので、入って確認しました。袋からブドウの実が見えるものが新たに4房確認できました。袋全体にネットをかぶせているので、食べられてはいませんが、実が房からとれていたり、ネットが破られていたりと明らかにつつかれたあとになっていました。

ハウスに侵入できそうな箇所がないか、もう一度確認。ビニール屋根の一部が破れていました。今回はそこをテープでふさぎました。

7月19日(日) これまでは鳥による食害でしたが、この日は明らかに動物の仕業でした。房のネットが外され、袋も破かれ、ブドウがそのまま見えているのもありました。対策として外からの侵入ができないようにハウスの周りをチェックしました。

22日(水) にも同様の被害が見られたため、食べられたブドウを集め、ハウスのまわりにエサとして置き、ハウス内の被害を抑える作戦をしてみました。そうすると、ハウス周りのエサ用のブドウを食べた形跡があり、ハウス内の被害はしばらくありませんでした。

ところが、27日(月) 28日(火) 2日続けて被害がありました。両日も鳥によるものか、小動物によるものか、判断は難しい状況でした。特に27日の被害を受け、当日当番実習に来ていた3年生に侵入できそうな隙間を探してもらい、十分な対策をしたあとだったので、朝の見回りで被害を見つけたときは驚きました。



㊦夏休み中の当番実習㊦

第1回目の当番実習はナシ販売のための準備です。収穫したナシを並べるナシ台を作り、そのあとナシを入れる箱を作りました。最後は袋のシール張りでした。



㊦中学生体験入学㊦

今回は鳥被害対策に使えるダミーのヘビ作りをメインにしました。参加した中学生は道具の扱いに苦戦しながらもヘビを作ることができました。この日専攻生が作ったヘビと練習で作ったヘビは早速ブドウハウスに入れました。



㊦ナシ収穫の取材㊦

ナシ(幸水)の収穫を前に徳島新聞の取材を受けました。まずは果樹園で写真撮影、ポーズの要求に照れながらの撮影となりました。

続いて果樹棟での口頭取材です。今年のナシの出来はどうか、栽培で大変だったのは何ですかという質問に上手に返答できました。この日の取材は8月6日の新聞に掲載されています

